

北里大学
同窓会
福井県支部

会報

No.17
2009.1



曹洞宗大本山
永平寺(山門)

福井県支部ホームページ

URL <http://www.9.ocn.ne.jp/~kitafuku/>
E-mail fukuikenshibu@kitasato-dousoukai.jp



『叡知と実践』 薬学部1号館で撮影

目次

■ 支部長に就任して	伊藤善祐	1
■ 同窓会活動を振り返って	清水賢涼	2
■ 大学と同窓会の近況	針谷義弘	3
■ 第35回北里大学同窓会支部懇談会		4
■ 平成19年度福井県支部総会・懇親会		5
■ 平成20年度支部総会・懇親会の案内		5
■ “山歩き”の楽しみ	江島昌希	6
■ “食”の思い出	前川とも子	7
■ 平成20年度理事会報告		7
■ 2008年を振り返って		8
■ あしあと		8



支部設立総会にて（昭和61年6月22日）
総会后、柴 忠義同窓会長（現、北里大学長）
を囲んで撮影した懐かしい写真です。



支部長に就任して

新しい年を迎え、北里大学同窓会会員の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は福井県支部の活動にご理解並びにご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

私は、平成19年度の総会において清水賢涼氏の後任として支部長を仰せつかりました伊藤善祐（昭和50年3月、衛生学部衛生技術学科卒業）と申します。微力ではありますが、責務を全うしたいと考えておりますので、これからよろしくお願い致します。

当支部の設立（昭和61年）以来、支部長を務めて来られた清水賢涼氏に深く敬意を表します。清水氏は同窓会本部と当支部のパイプ役として、また支部においては会員の動向を把握され、総会・懇親会を積極的に開催されるなど、大変尽力されました。その間、私は会報の発行やホームページ作成を行い、毎年皆様にお会い出来ることを楽しみにしておりました。

このように支部活動が継続的にできた要因として、清水前支部長の熱意と皆様のご支援（会費納入）に支えられた来たこと、会員数が139人（会員名簿上）というスケールメリットが挙げられます。しかし、設立当時と比べると総会・懇親会の参加者が少なくなったことが残念です。そこで、多くの方々に参加していただけるようなことを考えておりますが、その一つには当面は会費の徴収はしないことにしました。今後の運営は、以前に本部から支給された支部助成金などの積立金を活用します。

福井県支部
支部長

伊藤善祐

さて、少子化が加速する中で、北里大学においては学生のみならず社会的にも魅力ある大学とする為の改革が行われています。平成20年4月に学校法人北里学園・大学が社団法人北里研究所と法人統合し、新たに学校法人北里研究所・北里大学として再出発しました。今後は、教育・研究・医療・社会貢献において一層の向上と経営基盤の充実が図られるものと思われます。この改革は、私たち同窓生においても大きな期待を寄せることであり、学校法人北里研究所・北里大学の更なる発展を祈っております。

時の流れは早いもので、設立後21年が経過しました。2年後の平成23年には設立25周年を迎えます。その時には、北里大学・同窓会を冠した記念イベント（講演会・交流会）を開催したいと考えています。これからも同窓会の意義や在り方を考えながら運営してまいりますので、何卒よろしくお願い致します。





同窓会活動を振り返って

同窓会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃は当支部の活動に種々ご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

このたび支部長を退き、次の支部長を伊藤善祐理事にお願いすることになりました。思い起こせば前身の北陸支部から30年余り支部同窓会活動に携わってきました。当初の関わりは、金沢で開かれた北陸支部に出席したことでした。この時には福井県から出席したのは私と宮越さんでした。その時に、これからは各県でも分会として活動していこうということになり、役員選出の段になって私が年長であるということで分会長にされてしまい、それが30年余り続ける羽目になってしまいました。

北陸支部当時は各県持ち回りで総会を開いていました。しかし、地理的な制約から活動が十分に出来ないということで、各分会単位で独立して活動することになり、これを土台として昭和61年5月に各県支部が独立しました。

福井県支部は、昭和61年6月22日に柴同窓会長（現、北里大学学長）のご出席をいただき、福井厚生年金会館において支部設立総会を開催しました。当時の会員数は58名と小所帯でもあり、会員相互の親睦を図る為に、年1回の総会・懇親会開催と会報・名簿の発行、さらに講演会の開催、レクリエーション事業を当面の方針として活動してきました。

会員数は、発足当初58名であったのが、平成18年には128名と増えましたが、とにかく福井県に同窓会支部があると認識してもらえる

福井県支部
前支部長

清水賢涼

ように、総会・懇親会の開催と会報・名簿の発行は毎年欠かさないように心掛けてきました。総会案内の返信や会費納入の実績から会員の半数から6割程度の方々から連絡があり、まずまず認識していただけただけのものと思っています。これには各理事のご尽力の賜物と感謝しています。特に、会報担当の伊藤理事には毎年の発行というかなりの無理をお願いし、ホームページの開設・維持管理に多大なお力添えをいただきました。

レクリエーション事業では、明治村の旧北里研究所見学、池田町でのそば打ち・餅つき体験、今庄町での魚釣りやキャンプ等家族で楽しめる企画を実施しました。ただし、講演会は開催することが出来ず、これが心残りとなりました。



明治村（愛知県）にて 昭和62年8月

同窓会活動は、最近若い人から総会・懇親会に出席しても話や雰囲気合わないという批判を聞くことがあり、つい役員を気心の知れた人たちで固定してしまったのが原因と反省しています。これからは一会員として応援していきます。

同窓とは、北里を卒業した同志です。建学の精神である『叡智と実践』を忘れず、同窓会会員の皆様のご活躍を期待しています。



大学と同窓会の近況

北里大学同窓会の支部として同窓会活動を支えていただき、厚くお礼申し上げます。

平成20年4月に、社団法人 北里研究所と学校法人 北里学園が統合し、「学校法人 北里研究所」(以下、本法人と称す)が誕生しました。異業種間の統合はいろいろな面で大変だったようですが、「北里は一つ」という大きな思いがその困難を乗り越えさせたと思います。その結果、法人の予算規模は1千億円に上り、4病院の収支がその6割を占めていますので、病院経営が法人の運命を左右すると言っても過言ではありません。

平成24年には大学創立50周年を迎えます。現在「大学創立50周年記念事業」に向けて準備を進めているところです。それに合わせて相模原キャンパスの整備計画が進行中で、完了すれば相模原キャンパスは一新されるでしょう。すでに、新体育館と部室棟が完成しました。それに引き続き、職員宿舎及び一般教育棟の建て替えが始まろうとしています。さらに、大学病院の建て替えが計画されており、平成25年の完成を目指しています。

全学の教育面では、①チーム医療教育 ②農医連携教育研究 ③感染制御教育 ④医療系卒前卒後臨床教育のプログラムが実施され、北里大学の特徴として学内外に広報しています。学部関係では、学部の名称が獣医畜産学部から獣医学部(2007)に、水産学部から海洋生命科学部(2008)に変更になりました。獣医学部では小動物診療センターが新設され、体育館の建設が予定されています。海洋生命科学部は長年の懸案でありましたキャンパスの移転

北里大学同窓会
総務担当常任理事 針谷 義弘



問題に決着が付き、引き続き三陸の地で教育研究を行うことになりました。現在実習棟の建設が進んでいます。薬学教育は臨床教育をより充実するために、平成18年度から4年制(薬学科、製薬学科)から6年制(薬学科)になりました。

大学同窓会の活動は概ね順調に進んでいます。今年度は諸規定の見直し、ホームページの充実を図り、大学院修了者の本同窓会への加入及び北里大学保健衛生専門学院、北里大学看護専門学校の卒業生との共同活動について具体的な話し合いが行われています。会員の福利厚生としては、獣医学部のキャンパスが撮影に使用された「三本木農業高校、馬術部」の映画鑑賞券を1,239名の方々に進呈致しました。

また、同窓会設立40周年を記念して「北里大学同窓会40年の歩み」として同窓会設立から今日までの活動記録のビデオ(DVD版)作成を進めており、今年度中に完成させる予定です。本法人の評議員85名のうち卒業生評議員が28名となりましたので、12月6日に第1回目の懇談会(19名出席)を行いました。卒業生評議員が果たすべき役割について、卒業生の立場から大学の発展に資するような提案をしていきたいと考えています。

以上、思いつくままに記しましたので纏まりませんが、近況報告とさせていただきます。福井県支部の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

第35回北里大学同窓会支部懇談会が開催される

日時：平成20年11月15日(土) 午後3時～4時30分

会場：グランドプリンスホテル新高輪

平成20年度の支部懇談会は、16支部の代表と本部役員が出席して開催されました。福井県支部は都合により欠席しましたので、事務局より懇談会の記録を送っていただきました。ここで、その一部分を紹介致します。

《本部からの報告》

1. 平成20年度は、支部総会が13支部において開催された(予定を含む)。
2. 北里大学PPA地区懇談会が2会場(名古屋市…8月、仙台市…10月)で開催された。来年度は新潟市と福岡市で開催の予定となっている。
3. 同窓会支部細則(改正案)では、支部の所在地、支部援助金の取り扱いや増額などの意見・要望が出された。
4. 「北里大学同窓会特別奨励賞」受賞候補者の推薦要請があった。

その他に、各地区での入学試験の実施予定、北里大学保健衛生専門学院(新潟県南魚沼市)と北里大学看護専門学校(埼玉県北本市)との連携、北里大学大学院修了者の大学同窓会加入に向けた準備、映画「三本木農業高校、馬術部」の鑑賞券が卒業生を対象に進呈されたことが報告された。

《支部活動等の近況についての報告や要望》

1. 長野県支部は、第6回信州北里フォーラム兼市民公開講座を開催した。支部総会の開催、会報発行の他に、釣や旅行等を企画・実施している支部もある。また、公開講座、講演会等の開催を計画している支部が多い。
2. 獣医学部同窓会(紅緑会)の活動が活発で、多くの支部でリーダーシップを発揮している。
3. 多くの支部で、若い人と女性の同窓会活動への参加が少なく、高齢化が進んでいる。
4. 支部への各種補助を増やして欲しい。
5. 地方出身の卒業生が減少している傾向が見受けられることから、都道府県別・年度別の卒業生推移データを提供してもらいたい。



支部懇談会



平成19年度 福井県支部 総会・懇親会を開催

平成19年5月25日 (金)

平成19年度の福井県支部総会・懇親会が福井市内のユアーズホテル「橘」で開催されました。

その後の懇親会では、1年振りの再開ということで短い時間でしたが楽しく過ごすことが出来ました。

総会は、清水支部長をはじめ11名が出席しました。役員交代では、清水支部長の後任として伊藤理事が承認されました。また、年会費は当面徴収しないことになり、積立金を運営費に充てていくことになりました。

今回も出席者が少なかったのが残念でした。他の支部でも、若い人と女性の同窓会活動への参加が少なく、高齢化が進んでいると言われています。これからは、多くの会員に声をかけたいと考えています。



総会・懇親会のご案内

平成20年度の総会・懇親会を下記のとおり開催します。ご多忙のことと存じますが、是非ご出席ください。なお、出欠の有無と近況を返信用はがきでお知らせください。

* * *

日時：平成21年3月6日(金) 午後6時30分より

場所：グリル 葵

福井市大手3丁目6-3

TEL (0776) 24-1176

※地図をご覧ください。

会費：3,000円



グリル 葵(☆印)はJ R福井駅より徒歩7分です。

“山歩き”の楽しみ

卒業して21年が経ち、あわただしい日々を送ってきました。最近になって子供も小学校に入り、私が病気を患ったこともあって少し自分の為に時間を使おうと思うようになりました。

結婚前はよく登山などをしていましたが、結婚後は何かと忙しく、ここ10年程はほとんど登れませんでした。2008年3月に久しぶりに再開し、足慣らしに文殊山に登りました。長い間使っていなかったトレッキングシューズはソールのウレタンが劣化していて途中で剥がれるやら、ザックのファスナーが固くなっているなど散々でしたが、その後少しずつ装備を再度整え、8月には白山、10月には島根県の三瓶山に行くことができました。しかし、遠くの山に行く時間はなかなか取れない為、最近では自宅から3~4時間程度で行って帰ってこられる所に行くことにしています。

12月7日、福井にもこの冬初めて積雪があり、低山ではまだ紅葉も残っていたことから、自宅から歩いて近くの八幡山、足羽山へ出かけることにしました。12時ごろ自宅を出て、まず八幡山へ。5~6cmの積雪の中にだいぶ散っていましたが、紅葉と雪との風景をゆっくり見ながら歩き40分で八幡山山頂、更に40分で足羽山動物園付近山頂へ、この日は晴天で青空と雪のコントラストがきれいで、普段の運動不足とストレス解消になりました。約11kmを2時間半くらいで歩き14時過ぎには帰って来られました。

40代ともなると太りやすく、メタボリックシンドロームも気になる年代となりました。運動不足解消にスポーツジムに行ったことも

江島 昌希

(昭和62年衛生学部産業衛生学科卒業)

ありますが長続きせず、毎日とは行かなくても時間をみつけて歩くことは余暇の楽しみとなっています。



白山・室堂平から山頂(御前峰)を望む



三瓶山・山頂にて

〔三瓶山〕

日本海と中国山地のちょうど真ん中に位置する三瓶山(標高1,126m)。3,600年前の噴火によって出来た中国地方では数少ない火山です。トロイデ型のユニークな山の形と麓に広がる450haの美しい草原の景観が特徴で、大山隠岐国立公園の一部に指定されています。

三瓶山は貧栄養な火山灰に覆われているため、作物は育ちません。牛を飼って生活し、牛は背の高い草を食して草原を作りました。今では花や昆虫など小さな生き物たちにとって、草原は無くてはならない貴重な住みかになっています。



八幡山から足羽山へ(福井市)

“食”の思い出

長い間ご無沙汰していた友人と数十年振りの同窓会で出会いや旅行をしたことで、食いしん坊の私が十和田の頃に体験した食文化の違いを思い出しました。

例えば、冬場には野菜の流通が悪く、福井では捨ててしまうような“だいこんの葉”、これを干したものが味噌汁の具として供された時には不思議に思いました。“りんご”も大切に、秋に取れた青いりんごが12月から翌年の3月にかけて甘くなり、食事に出てきました。魚も“鯖”が八戸の港で3枚におろされて蒸されたものが十和田に入り、それを煮たり焼いたりしたものが下宿で出されました。福井で食べるような濃厚さは感じられませんでした。

また、その当時、友人の沖縄出身のN子さんに届いた荷物の中にあった“キャンベルコンソメスープ”と“ちんすこう”に驚いたこと

前川 とも子

(昭和49年獣医畜産部畜産学科卒業)

を今でも鮮明に覚えています。スープの缶詰という概念、材料に“ラード”と“サトウキビ”が合わさった濃厚な甘さは初めての経験でした。そして、福井から“甘えび”を送った時、沖縄には鮮やかな色の魚介類がいるのに、あの赤さにびっくりして生で食べられるように送ったものが鍋物の材料となっていました。また、どこでも食べられていた“あられ”、...これは沖縄ではとても珍しく貴重品扱いをされていたそうです。

このように時代によるものや地域によるものの違いを感じられたことは、学生時代を過ごした十和田での体験と友人との出会いがあったからでした。



平成20年度理事会報告

1. 副会長の人選について

平成19年5月の総会以来空席になっていた副会長に、上田修志さんが推薦された。また、会計は前川とも子さんから江島昌希さんに交代し、理事1名が都合により退任するが他の理事5名と監事は留任する。いずれも次の総会で承認を得る。

2. 積立金及び繰越金について

清水前支部長(会長)から総額1,206,859円が渡されたので、新たな預金口座を設けて管理する。

3. 会費について

総会において、今後は年会費(現行は2,000円/人、夫婦会員の場合は一組3,000円)を徴収せずに、必要経費を預金から取り崩していくことが了承された。これに伴い福井県支部の細則を改定し、同窓会本部へ報告する。

平成20年9月5日(金)に開催

4. 支部細則の改定について

第2条(事務局)、第3条(会費)を改定する。

5. 総会・懇親会の開催について

平成20年度総会を平成21年3月に開催し、総会後に懇親会を開く(案内を1月中旬に発送する)。なお、懇親会費は3,000円とし、不足分は従来どおり支部が負担する。

6. 会報について

「福井県支部会報 No.17」を総会・懇親会の案内状と一緒に送付する。12月末までに編集を終了し、1月に発行する。

7. メールアドレスについて

昨年、同窓会本部から配布されたメールアドレスは、迷惑メールが多くなったので使用を止めた。

※新メールアドレス

fukuikenshibu@kitasato-dousoukai.jp

2008年を振り返って……

すべては「サブ・プライム ローン」が始まりだったと言われる100年に一度という世界的な経済危機。しかし、「米住宅バブル崩壊」も「サブ・プライム ショック」も「リーマン・ブラザーズ破綻」なども全部一つの大きな問題の一つの側面でしかない。それは実体なき“金融バブル”の崩壊であると言われている。

このような2008年を福井新聞の“10大ニュース”(12月30日付)で振り返ってみた。海外では ①米発金融危機が拡大、世界不況に ②米大統領選、オバマ氏当選 ③中国・四川省で大地震 ④原油、食料価格の高騰 ⑤北京五輪、聖火リレーで混乱 ⑥米が北テロ指定解除 ⑦ミャンマーで大型サイクロン ⑧インド・ムンバイで同時テロ ⑨ロシア新大統領就任 ⑩アフガンで伊藤さんが誘拐・射殺。一方、国内では ①福田首相も政権投げ出し ②景気後退入り、株価は急落、円高騰 ③秋葉原や大阪などで無差別殺傷 ④ギョーザ中毒や汚染米転売 ⑤ノーベル賞一挙4人受賞 ⑥後期高齢者医療制度スタート ⑦暫定税率再可決、ガソリン価格乱高下 ⑧元厚生次官らの連続殺傷に衝撃 ⑨標準報酬月額改ざん明るみに ⑩非正規雇用が過去最高に。

一年の世相を漢字一文字で表す2008年「今年の漢字」が「変」だった。人それぞれ思いがあるだろうが、いつまでも記憶に残る一年になった。さて、2009年はどうのような年になるのだろうか？ 社会では景気が好転することと事故や犯罪が少なくなることを望み、個人的には健康で過ごせる一年でありたい。(Z. I)



あしあと (編集後記)

- 時の経つのは早いものです。前回の総会から早1年半が過ぎてしまいました。同窓会の活動が停滞していたことをお詫び致します。
- 年末・年始の休暇を利用して、この会報を作成しました。寄稿していただいた皆様に心より感謝致します。
- 平成20年度から特定健康診査と特定保健指導が始まりましたが、私も職場の責任者になりシステム導入で苦勞しました。腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上という基準に対する論争もありましたが、未だ厚生労働省から見直しの通達はありません。健診の受診率が低くなったり、メタボの該当者が改善の努力をしなければ、この制度の効果が低くなります。
- 2008年は“激動の一年”であったと言っても過言ではありません。新聞記事から海外・国内の“10大ニュース”を掲載させていただきました。何年か経ってから読み返してください。
- 3月に支部総会・懇親会を開催致します。本年度から会費を徴収しませんのでご了承ください。いつも参加者が少ないので、お誘い合わせのうえ多数ご参加くださいますようお願い致します。

〈伊藤 記〉

■ 編集

伊藤 善祐 江島 昌希
宮川 人美

■ 発行日

平成21(2009)年1月15日

■ 発行責任者

伊藤 善祐

■ 事務局

〒911-0844
福井県勝山市鹿谷町
西遅羽口13-9 伊藤方
TEL (0779) 89-2082